

明石工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	美術-1	
科目基礎情報							
科目番号		5122		科目区分		一般 / 選択	
授業形態		実技		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		機械工学科		対象学年		1	
開設期		前期		週時間数		2	
教科書/教材		編集部：「美術 1」、光村図書出版　その他課題に応じて資料となるプリントを配布する。					
担当教員		大野 良平					
到達目標							
1. いくつかの方法で美術表現ができる。 2. 作品の鑑賞や合評での批評ができる。 3. 実生活と美術の関わり方を理解する。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		いくつかの方法で自在に美術表現ができる。		いくつかの方法で美術表現ができる。		いくつかの方法で美術表現ができない。	
評価項目2		作品の鑑賞や合評での批評が確 定できる。		作品の鑑賞や合評での批評が できる。		作品の鑑賞や合評での批評が できない。	
評価項目3		実生活と美術の関わり方を十分に 理解している。		実生活と美術の関わり方を理解 している。		実生活と美術の関わり方を理解 していない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		平面描写(デッサン)、立体造形(粘土)、色彩(色材)、発想(イメージ)など、美術表現をととして個々の感性を磨き、実生活と美術(アート)の関わり方を学ぶ。					
授業の進め方・方法		授業は主として美術表現の実技形式で進める。 連絡員：ハーバート ジョン					
注意点		この科目は、長年、現代美術作家としての作家活動やアートを介したまちづくりを実践してきた教員が、その経験を活かし、実技の授業をととして美術とは何かを問うものである。 個々の主体性を要する科目である。意欲的に制作に取り組むこと。授業ではF6サイズスケッチブックを使用。用具等の忘れ物がないように。教室の後片付けと掃除を義務付ける。 評価の対象としない欠席条件(割合) 1/4以上の欠課					
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業内容および用具/鑑賞/次回の課題説明 1				
		2週	デッサン 1		デッサン 1 ができる。		
		3週	デッサン 2		デッサン 2 ができる。		
		4週	デッサン 3		デッサン 3 ができる。		
		5週	デッサン 4		デッサン 4 ができる。		
		6週	デッサン 5		デッサン 5 ができる。		
		7週	デッサン 6		デッサン 6 ができる。		
		8週	色材料をつかった抽象表現(自然界のイメージ・ 1)		色材料をつかった抽象表現ができる。		
	2ndQ	9週	色材料をつかった抽象表現(自然界のイメージ・ 2)		色材料をつかった抽象表現ができる。		
		10週	色材料をつかった抽象表現(自然界のイメージ・ 3)		色材料をつかった抽象表現ができる。		
		11週	色材料をつかった抽象表現(自然界のイメージ・ 4)		色材料をつかった抽象表現ができる。		
		12週	合評/次回の課題説明 3		抽象表現の合評ができる。		
		13週	人物(骨格模写・ 1)		人物の骨格模写ができる。		
		14週	人物(クロッキー・ 1)		人物のクロッキーができる。		
		15週	人物(クロッキー・ 2)		人物のクロッキーができる。		
		16週	期末試験実施せず				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	他者の意見を聞き合意形成することができる。		1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15

	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				目標の実現に向けて計画ができる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15

評価割合			
	実技制作	出席状況・制作態度	合計
総合評価割合	80	20	100
基礎的能力	80	20	100
専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0